子育て体験談・エピソード『私の子育て・我が家の子育て』⑩

「お父さんは、罰ゲーム！」

ペンネーム“Ｇｏｒｏ”さん

帰宅したある日、子どもが居間のソファーの隅で泣いていた。「何で泣いているのだろう。」まあまあ、姉妹ケンカでもしたのだろう。でもお姉ちゃんの方が泣いている。おかしいなと思いながら、夕食を取り、妻と会話。お姉ちゃんはどうして泣いていたのか聞いてみた。すると、妹を叩いて泣かしたうえに、宿題もせずに遊んでいたという。それはお姉ちゃんが悪い。妻にひどく怒られて、それでソファーの隅で泣いていたのだろう、と思った時妻が言った。「あんまり言うことを聞かんけん、『夜はお父さんと寝らんばよ』って言ったらあそこ（ソファーの隅）で泣きはじめた…」と。えっ、おとうさん（私）と寝ることが罰ゲーム？そんなに辛い事なのか…なんだか悲しいというより虚しくなりました。

世間のお父さん！お父さんと寝ることが罰ゲームにならないように、しっかり子育てをしてくださいね。

嫌われた　ショックを受ける　その前に
子育てしましょう　お父さん

子育て体験談・エピソード『私の子育て・我が家の子育て』⑪

「平凡な日々に感謝」

ペンネーム“タマコロパパ”さん

「兄ちゃんがしたやんね!」「お前が先にしたやっか!!」

さっきまで仲良く遊んでいたかと思うと、もう喧嘩が始まった。『仲がいいほど喧嘩する』と言うが、まさにそのとおり。あと数分もすれば、また仲良く遊んでいることだろう。

こんな光景を見る度に、普通に生活できることがどんなに幸せかを実感する。

生後間もなく１万人に一人と言われる先天性胆道閉鎖症と診断され、大手術を見事に乗り越えた長男。その後の経過もよく順調に育ってくれ、３歳の誕生日に次男が生まれた。何の因果か、次男までもが先天性胆道閉鎖症。「遺伝性の病気でもないのに、何故うちの子だけが…?!」「同じ誕生日に、同じ病気?!」正直、この子たちの持って生まれた宿命を恨んだ。

幸い、たくさんの方からの支援を受け、肝臓移植という大きな壁を乗り越えることができた。確かに、この子たちは大変な宿命を背負ってるのかもしれない。でも、それ以上の生命力と強運を併せ持っていることも確かだ。父親としてとても誇りに思うし、今では、１万人に一人という特別な子を、二人も授かったことに心から感謝している。

ほーら、いつの間にか仲直りして、もう元気に走りまわっている。

気づいてますか　幸せに
家族が過ごす　いつもの時間